

バクトラミン注

【この薬は？】

販売名	バクトラミン注 BACTRAMIN for Injection
一般名	トリメトプリム Trimethoprim スルファメトキサゾール Sulfamethoxazole
含有量 (1 アンプル (5mL) 中)	トリメトプリム 80mg スルファメトキサゾール 400mg

患者向医薬品ガイドについて

患者向医薬品ガイドは、患者の皆様や家族の方などに、医療用医薬品の正しい理解と、重大な副作用の早期発見などに役立てていただくために作成したものです。

したがって、この医薬品を使用するとき特に知っていただきたいことを、医療関係者向けに作成されている添付文書を基に、わかりやすく記載しています。医薬品の使用による重大な副作用と考えられる場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。

ご不明な点などありましたら、末尾に記載の「お問い合わせ先」にお尋ねください。

さらに詳しい情報として、PMDA ホームページ「医薬品に関する情報」<https://www.pmda.go.jp/safety/info-services/drugs/0001.html> に添付文書情報が掲載されています。

【この薬の効果は？】

- ・この薬は、カリニ肺炎*治療剤と呼ばれる薬です。
- ・この薬は、カリニ肺炎*の原因となるニューモシスチス・カリニ**の増殖に必要な葉酸の生合成を阻害する成分と、葉酸の活性化を阻害する成分の2つの有効成分を配合することにより、相乗的に抗菌作用を示します。
- ・次の目的で処方されます。

<適応症>

- カリニ肺炎*

<適応菌種>

- ニューモシスチス・カリニ**

*現在は、ニューモシスチス肺炎と呼ばれています。

**現在は、ニューモシスチス・イロベチーと呼ばれています。

【この薬を使う前に、確認すべきことは？】

- この薬により、ショック、皮膚障害、肝障害、血液障害（再生不良性貧血、巨赤芽球性貧血、メトヘモグロビン血症、血小板減少症、無顆粒球症、溶血性貧血、汎血球減少、血栓性血小板減少性紫斑病、溶血性尿毒症症候群）などの重篤な副作用があらわれることがあります。
- 次の人は、この薬を使用することはできません。
 - ・過去にバクタミン注に含まれる成分やサルファ剤で過敏症のあった人
 - ・妊婦または妊娠している可能性がある人
 - ・低出生体重児、新生児
- 次の人は、慎重に使う必要があります。使い始める前に医師または薬剤師に告げてください。
 - ・貧血、出血しやすいなど血液の病気がある人、または過去にかかったことがある人
 - ・本人または両親、兄弟が気管支喘息、発疹、じんましんなどのアレルギー症状を起こしやすい体質をもつ人、または過去に他の薬で過敏症のあった人
 - ・葉酸欠乏または葉酸代謝異常のある人（胃の摘出手術をしたことがある人、他の葉酸代謝拮抗剤を使用している人、出産して間もない人、先天性葉酸代謝異常症の人など）
 - ・グルコース-6-リン酸脱水素酵素（G-6-PD）が欠乏している人
 - ・急性ポルフィリン症の人
 - ・腎臓に障害のある人
 - ・肝臓に障害のある人
 - ・授乳中の人
- この薬には併用を注意すべき薬があります。他の薬を使用している場合や、新たに使用する場合は、必ず医師または薬剤師に相談してください。

【この薬の使い方は？】

●使用量および回数

- ・この薬は注射薬です。
- ・使用量、使用回数、使用方法などは、あなたの年齢や症状などにあわせて、医師が決め、医療機関において注射されます。

通常の使用量および使用時間は次のとおりです。

一日量 (体重 1kg あたり)	トリメトプリムとして 15~20mg
使用回数	1日3回
使用時間	1~2時間かけて点滴注射します。

●多く使用した時（過量使用時）の対応

吐き気、嘔吐（おうと）、下痢、精神神経系症状（頭痛、めまいなど）、結晶尿、血尿などがあらわれる可能性があります。これらの症状があらわれた場合は、すぐに医師に伝えてください。

【この薬の使用中に気をつけなければならないことは？】

- ・この薬の副作用について十分に理解できるまで説明を受けてください。この薬を使用して発疹などの皮膚の異常や血液障害（貧血、出血しやすいなど）があらわれた場合は、すぐに医師に伝えてください。
- ・副作用の早期発見のため、必要に応じ臨床検査（血液検査、肝機能検査、腎機能検査、血中電解質など）が行われます。
- ・妊婦または妊娠している可能性がある人はこの薬を使用することはできません。
- ・授乳している人は医師に相談してください。
- ・他の医師を受診する場合や、薬局などで他の薬を購入する場合は、必ずこの薬を使用していることを医師または薬剤師に伝えてください。

副作用は？

特にご注意ください重大な副作用と、それぞれの主な自覚症状を記載しました。副作用であれば、それぞれの重大な副作用ごとに記載した主な自覚症状のうち、いくつかの症状が同じような時期にあらわれることが一般的です。このような場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。

重大な副作用	主な自覚症状
再生不良性貧血 さいせいふりょうせいひんけつ	めまい、体がだるい、息切れ、動悸（どうき）、あおあざができる、出血が止まりにくい、発熱、寒気、喉の痛み
巨赤芽球性貧血 きよせきがきゅうせいひんけつ	しびれや痛みを伴う舌炎、動く時の息切れ、動悸
メトヘモグロビン血症 メトヘモグロビンけっしょう	手足の爪が青紫～暗紫色になる、唇が青紫色になる、体がだるい、めまい、頭痛、耳鳴り、動悸、息切れ
血小板減少症 けっしょうばんげんしょうしょう	鼻血、唾液、痰に血が混じる、血を吐く、歯ぐきからの出血、あおあざができる、出血が止まりにくい
無顆粒球症 むかりゅうきゅうしょう	突然の高熱、寒気、喉の痛み
溶血性貧血 ようけつせいひんけつ	体がだるい、めまい、息切れ、白目が黄色くなる、皮膚が黄色くなる、尿の色が濃くなる
汎血球減少 はんけつきゅうげんしょう	めまい、鼻血、耳鳴り、歯ぐきからの出血、息切れ、動悸、あおあざができる、出血しやすい、発熱、寒気、喉の痛み
血栓性血小板減少性紫斑病（TTP） けっせんせいけっしょうばんげんしょうせいしはんびょう（ティーティーピー）	発熱、体がだるい、あおあざができる、鼻血、唾液、痰に血が混じる、血を吐く、歯ぐきからの出血、尿量が減る、白目が黄色くなる、皮膚が黄色くなる、尿の色が濃くなる、意識の低下

重大な副作用	主な自覚症状
溶血性尿毒症症候群 (HUS) ようけつせいにようどくしょうしょうこうぐん (エイチユーエス)	尿量が減る、むくみ、体がだるい、意識の低下、意識の消失、けいれん、深く大きい呼吸、食欲不振、紫色のあざ
ショック	冷汗が出る、めまい、顔面蒼白 (そうはく)、手足が冷たくなる、意識の消失
アナフィラキシー	全身のかゆみ、じんま疹、喉のかゆみ、ふらつき、動悸、息苦しい
皮膚粘膜眼症候群 (Stevens-Johnson 症候群) ひふねんまくがんしょうこうぐん (スティーブンス-ジョンソンしょうこうぐん)	発熱、目の充血やただれ、唇や口内のただれ、円形の斑の辺縁部にむくみによる環状の隆起を伴ったものが多発する
中毒性表皮壊死融解症 (TEN) ちゅうどくせいひょうひえしゆうかいしょう (テン)	皮膚が広い範囲で赤くなり、破れやすい水ぶくれが多発、発熱、粘膜のただれ
多形紅斑 たけいこうはん	円形の斑の辺縁部にむくみによる環状の隆起を伴ったものが多発する、発熱、関節の痛み、喉の痛み
薬剤性過敏症症候群 やくざいせいかびんしょうしょうこうぐん	皮膚が広い範囲で赤くなる、全身性の発疹、発熱、体がだるい、リンパ節 (首、わきの下、股の付け根など) のはれ
急性膵炎 きゅうせいすいえん	吐き気、嘔吐、激しい上腹部の痛み、背中での痛み、お腹にあざができる、お腹が張る
偽膜性大腸炎等の血便を伴う 重篤な大腸炎 ぎまくせいだいちょうえんなどのけつべんを ともなうじゅうとくなだいちょうえん	腹痛、血の混ざったゆるい便が出る、ゆるい便が出る、発熱、頭痛、吐き気、冷汗が出る、顔面蒼白、手足が冷たくなる
重度の肝障害 じゅうどのかんしょうがい	体がだるい、吐き気、食欲不振、白目が黄色くなる、皮膚が黄色くなる、体がかゆくなる、尿の色が濃くなる、お腹が張る、急激に体重が増える、血を吐く、便に血が混じる (鮮紅色～暗赤色または黒色)、意識の低下
急性腎障害 きゅうせいじんしょうがい	尿量が減る、むくみ、体がだるい
間質性腎炎 かんしつせいじんえん	発熱、発疹、関節の痛み、吐き気、嘔吐、下痢、腹痛、むくみ、尿量が減る
無菌性髄膜炎 むきんせいずいまくえん	発熱、頭痛、吐き気、嘔吐、首のうしろがこわばり固くなって首を前に曲げにくい
末梢神経炎 まつしょうしんけいえん	指先のしびれ、筋力の低下
間質性肺炎 かんしつせいはいえん	咳、息切れ、息苦しい、発熱
PIE 症候群 ピーアイイーしょうこうぐん	発熱、咳、息切れ、息苦しい

重大な副作用	主な自覚症状
低血糖発作 ていけつとうほっさ	冷汗が出る、血の気が引く、疲れやすい、手足のふるえ、けいれん、意識の低下
高カリウム血症 こうカリウムけっしょう	体のしびれ、体に力が入らない、吐き気、嘔吐、下痢、お腹が張る
低ナトリウム血症 ていナトリウムけっしょう	吐き気、頭痛、嘔吐、けいれん、意識の低下
横紋筋融解症 おうもんきんゆうかいしょう	手足のこわばり、手足のしびれ、脱力感、筋肉の痛み、尿が赤褐色になる

以上の自覚症状を、副作用のあらわれる部位別に並び替えると次のとおりです。これらの症状に気づいたら、重大な副作用ごとの表をご覧ください。

部位	自覚症状
全身	けいれん、ふらつき、むくみ、リンパ節（首、わきの下、股の付け根など）のはれ、寒気、急激に体重が増える、出血が止まりにくい、出血しやすい、食欲不振、体がかゆくなる、体がだるい、体に力が入らない、体のしびれ、脱力感、突然の高熱、発熱、疲れやすい、冷汗が出る
頭部	めまい、意識の消失、意識の低下、首のうしろがこわばり固くなって首を前に曲げにくい、頭痛
顔面	顔面蒼白、血の気が引く、鼻血
眼	白目が黄色くなる、目の充血やただれ
耳	耳鳴り
口や喉	しびれや痛みを伴う舌炎、咳、血を吐く、喉のかゆみ、喉の痛み、歯ぐきからの出血、唇が青紫色になる、唇や口内のただれ、唾液、痰に血が混じる、吐き気、嘔吐
胸部	深く大きい呼吸、息苦しい、息切れ、動く時の息切れ、動悸
腹部	お腹が張る、激しい上腹部の痛み、腹痛
背中	背中での痛み
手・足	関節の痛み、指先のしびれ、手足が冷たくなる、手足のこわばり、手足のしびれ、手足のふるえ、手足の爪が青紫～暗紫色になる
皮膚	あおあざができる、お腹にあざができる、じんま疹、円形の斑の辺縁部にむくみによる環状の隆起を伴ったものが多発する、紫色のあざ、全身のかゆみ、全身性の発疹、粘膜のただれ、発疹、皮膚が黄色くなる、皮膚が広い範囲で赤くなり、破れやすい水ぶくれが多発、皮膚が広い範囲で赤くなる
筋肉	筋肉の痛み、筋力の低下
便	ゆるい便が出る、下痢、血の混ざったゆるい便が出る、便に血が混じる（鮮紅色～暗赤色または黒色）
尿	尿が赤褐色になる、尿の色が濃くなる、尿量が減る

【この薬の形は？】

性状	無色～微黄色澄明な液
容器	アンプル（5mL）
容器の形状	

【この薬に含まれているのは？】

有効成分	トリメトプリム 日局スルファメトキサゾール
添加剤	モノエタノールアミン、水酸化ナトリウム、プロピレングリコール、無水エタノール

【この薬についてのお問い合わせ先は？】

- ・症状、使用方法、副作用などのより詳しい質問がある場合は、主治医や薬剤師にお尋ねください。
- ・一般的な事項に関する質問は下記へお問い合わせください。

製造販売会社：太陽ファルマ株式会社

[\(https://www.taiyo-pharma.co.jp/\)](https://www.taiyo-pharma.co.jp/)

お客様相談室

電話：0120-533-030

受付時間：9時～17時30分

（土、日、祝日、会社休日を除く）